

第 6 次計画に基づく病院整備計画の状況報告資料

- 1 病院名：順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- 2 所在地（開設予定地）：埼玉県越谷市袋山 560 番地（自院敷地内に予定）
- 3 整備計画（増床）病床数：200床
 （医療機能別内訳：高度専門医療（がん）15床、精神疾患を有する身体合併症患者に対する救急医療 40床、神経難病医療 40床、緩和ケア 20床、地域包括ケア 45床、膠原病医療 40床）

4 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月
1	開設（変更）許可（医療法）	平成 31 年 12 月
2	建築（着工）	平成 32 年 3 月
3	建築（竣工）	平成 33 年 4 月
4	医療従事者の確保	平成 33 年 2 月
5	使用許可（医療法）	平成 33 年 6 月
6	開設（増床）	平成 33 年 7 月

5 整備方針、目標

○地域医療を支えていくために圏域で果たす役割、機能

増床においては、当初より内科系の診療に重点を置いた病院運営を図るとしてきたことから、一般病床 200 床の開設により、東部 2 次医療圏では、主として回復期、慢性期の患者を対象とした医療を展開し担っていく。

東部医療圏においては、急性期医療を担う医療機関及び医療機能の充実が図られているが、一般診療科では地域医療ケアシステムにおける内科系医療、精神科領域では救急・急性期～療養期までをカバーし、内科系診療を含めたメンタルヘルスケアの病院運営の取り組みにより、当該医療圏における貢献度を高めていく。

○新たに担う役割

増床による機能（一般診療科）

- ・一般病床（難病医療：膠原病） 40 床
- ・ // （難病医療：神経難病） 40 床
- ・ // （身体合併症医療） 40 床
- ・ // （高度専門：がん医療） 15 床
- ・地域包括ケア病床 45 床
- ・緩和ケア病床 20 床

○将来の方向性

将来構想として、特徴ある医療を行うため、難病センター（仮称）の開設を検討している。

埼玉県より難病医療機関の指定を受けており、当該医療における診療水準の充実を目指す。

大学附属病院として、医療機能の充実と診療の専門性を追求していくと共に、臨床医、研究者の養成並びに病態解明、疾病予防等、患者のQOL向上に資する病院モデルの構築を進めていく。

○現在の体制で対応できていない患者と今後の見込み 等

- 救急搬送患者
 - i) 精神疾患を有する身体合併症患者
 - ii) 精神疾患により救急医療を要する患者
- 通院患者
 - iii) 一般診療科に通院中の患者

上記患者について、i)、iii) は一般病床の開設で入院加療が可能となる。

一方、ii) は、精神科の病床再編により精神科救急治療病棟の開設を検討している。

【増床病棟】

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
緩和ケア病棟	20床	慢性期		
診療科 内科				
患者の受入れ見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入すること。） 新入院患者数見込み：緩和ケア 127.5人/年 病床稼働率予測 : 75.0%				
患者受入れ見込み : 東部医療圏の連携予定医療機関の予測 緩和ケア 地域がん診療連携拠点病院（2病院） ・春日部市立医療センター、獨協医科大学埼玉医療センター がん診療指定病院（2病院） ・秀和総合病院、越谷市立病院 患者紹介 15～20%を予測 20～26人/年 その他、① 順天堂大学附属病院群、② 埼玉県中央部医療圏（さいたま市）からの患者受入れを見込んでいる。				
医療（病診）、介護連携見込み 新規開設の病床機能のため、現状では数値等による説明・報告は難しい状況にある。 越谷市の開業医（在宅医療専門医、かかりつけ医）と在宅医療に係る連携を進めていきたいと考えている。				

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
新館3階A病棟	45床	急性期		
<p>診療科 内科 精神疾患を有する身体合併症患者に対応する内科医療</p>				
<p>患者の受入れ見込み (※名称、数値(人数、病床数に占める割合)について具体的に記入すること。)</p> <p>新入院患者数見込み：350人/年 病床稼働率予測：82.5%</p> <p>患者受入れ見込み：東部医療圏の連携予定医療機関の予測</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 越谷市立病院 2) 草加市立病院 3) 春日部市立医療センター 4) 獨協医大埼玉医療センター 5) 春日部中央総合病院 6) 秀和総合病院 <p>身体管理を要する精神疾患患者の受入れの専門病棟として開設、運用するため、精神科医のコンサルテーションのもと、内科的治療への移行を円滑に行なうべく、地域の中核総合病院と連携の充実を図っていく。</p> <p>平均紹介率 30～40%を目標とする。</p> <p>その他、① 順天堂大学附属病院群、② 埼玉県中央部医療圏(さいたま市)からの患者受入れを見込んでいる。</p>				
<p>医療(病診)、介護連携見込み</p> <p>新規開設の病床機能のため、現状では数値等による説明・報告は難しい状況にある。</p> <p>退院後のQOL維持、向上に寄与できるよう、開業医(かかりつけ医)との連携を進めたいと考えている。</p>				

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
新館3階B病棟	45床	回復期		
<p>診療科</p> <p>脳神経内科（神経難病医療）</p> <p>患者の受入れ見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入すること。） 新入院患者数見込み：475人／年 病床稼働率予測：90.0%</p> <p>患者受入れ見込み：東部医療圏の連携予定医療機関の予測</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 越谷市立病院 2) 獨協医大埼玉医療センター 3) 八潮中央総合病院 4) 春日部中央総合病院 5) 秀和総合病院 <p>上記は脳神経内科の外来診療を開設している医療機関であり、入院加療を必要とする症例に対しフォローを行っていく。 平均紹介率 35～40%を目標とする。 その他、① 順天堂大学附属病院群、② 埼玉県中央部医療圏（さいたま市）からの患者受入れを見込んでいる。</p> <p>医療（病診）、介護連携見込み 新規開設の病床機能のため、現状では数値等による説明・報告は難しい状況にある。 総合病院の他に、開業医（かかりつけ医、家庭医）より入院相談・診療にニーズできる体制としたい。 退院後の在宅移行・在宅支援に向けて、訪問看護ステーション、居宅介護支援施設との連携を進めたいと考えている。</p>				

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
新館 4 階A病棟	45 床	急性期		
診療科				
内科（膠原病医療）				
<p>患者の受入れ見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入すること。）</p> <p>新入院患者数見込み：444 人／年 病床稼働率予測：85.0%</p> <p>患者受入れ見込み：東部医療圏の連携予定医療機関の予測</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 越谷市立病院 2) 草加市立病院 3) 三郷中央総合病院 4) 吉川中央総合病院 5) 八潮中央総合病院 6) 秀和総合病院 <p>上記は膠原病の外来診療を開設している医療機関であり、入院加療を必要とする症例に対しフォローを行っていく。 平均紹介率 25～30%を目標とする。 その他、① 順天堂大学附属病院群、② 埼玉県中央部医療圏（さいたま市）からの患者受入れを見込んでいる。</p>				
<p>医療（病診）、介護連携見込み</p> <p>新規開設の病床機能のため、現状では数値等による説明・報告は難しい状況にある。</p> <p>総合病院の他に、開業医（かかりつけ医、家庭医）より入院相談・診療にニーズできる体制としたい。</p> <p>退院後の ADL・QOL の低下防止に向けて訪問看護ステーション、居宅介護支援施設との連携を進めたいと考えている。</p>				

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
新館4階B病棟	45床	回復期		
診療科				
内科、脳神経内科（地域包括ケア）				
<p>患者の受入れ見込み （※名称、数値（人数、病床数に占める割合）について具体的に記入すること。） 新入院患者数見込み：383人／年 病床稼働率予測：85.0%</p> <p>患者受入れ見込み：東部医療圏の連携予定医療機関の予測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越谷市医師会員の開業医 ・近隣医師会員の開業医 <p>第一義として、地域の開業医との連携構築を進め、地域医療への貢献を高めていく。</p> <p>この他に、高機能の総合病院との連携も進めていく予定である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 越谷市立病院 2) 草加市立病院 3) 春日部市立医療センター 4) 獨協医大埼玉医療センター 5) 三郷中央総合病院 6) 春日部中央総合病院 7) 秀和総合病院 <p>上記は24時間体制で脳疾患治療に対応できる医療機関であり、多くの治療実績を有している。これらの病院とも連携して、脳卒中、脳梗塞の術後フォローとリハビリテーションを含めた内科的診療を担っていく。</p> <p>平均紹介率40～45%を目標とする。</p> <p>その他、① 順天堂大学附属病院群、② 埼玉県中央部医療圏（さいたま市）からの患者受入れを見込んでいる。</p>				
<p>医療（病診）、介護連携見込み</p> <p>新規開設の病床機能のため、現状では数値等による説明・報告は難しい状況にある。</p> <p>地域医療を担うため、開業医（かかりつけ医、家庭医）より入院相談・診療に応需できる体制としたい。</p> <p>退院後の在宅移行・在宅支援に向けては、訪問看護ステーション、在宅支援センター、居宅介護支援施設との連携を進め、在宅移行、在宅支援に取り組んでいく予定である。</p>				

6 既存病棟の概要

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
精神病棟 入院基本料 15：1 (病棟数：4)	178 床	期 精神病棟：該当せず	139.1 日	93.2%
精神科急性期治療病棟 入院料 1 (病棟数：1)	48 床	精神病棟：該当せず		
診療科 メンタルクリニック				
診療実績 ○メンタルクリニック 入院延べ患者 76,193 名/年 (平成 29 年度実績) 外来延べ患者 89,177 名/年 (同 上) 入院治療：対象疾患 (鬱、認知症、統合失調症等) 専門治療 (m-ECT；無痙攣方式 電気痙攣療法) リハビリテーションとの連携 (精神科作業療法、デイケア、ショートケア)				

7 医療 (介護) 連携における課題、問題点

回復期・慢性期の病院の整備であり、退院患者の在宅移行及び在宅支援が重要となる。

ADLにより、当院もリハビリテーションに注力していくが、回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関との連携構築は必要である。

リハビリテーション後の在宅移行、在宅支援にも積極的に関与していくため、医療圏を同じくする訪問看護ステーション、介護医療院等との情報共有を進めていく。

現在、精神科領域において効果を上げている精神科訪問看護により得られたノウハウを、どのように一般診療科に応用していくか、訪問看護・訪問支援の在り方・相違点を検証の上、新たな実施計画策定が今後の課題となる。

別紙

病院整備計画 病床機能報告調書（現状と整備計画後）

病院名	順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
-----	-------------------

1 現状（平成30年7月1日時点）

病床機能区分	病棟名	病床種別	入院基本料・特定入院料	許可病床数	稼働病床数	備考
高度急性期						
急性期						
回復期						
慢性期						
その他 (休棟等)	1号館2階病棟	精神	精神科急性期治療病棟 1 (特定)	48	48	
	2号館1A病棟	精神	精神科病棟入院基本料 (15:1)	46	46	
	2号館1B病棟	精神	精神科病棟入院基本料 (15:1)	45	45	
	2号館2A病棟	精神	精神科病棟入院基本料 (15:1)	43	43	
	2号館2B病棟	精神	精神科病棟入院基本料 (15:1)	44	44	
計				226	226	

2 整備計画後

病床機能区分	病棟名	病床種別	入院基本料・特定入院料	許可病床数	稼働病床数	備考
高度急性期						
急性期	新館3A病棟	一般	急性期一般7 (10:1)	45	45	身体合併症
	新館4A病棟	一般	急性期一般7 (10:1)	45	45	膠原病医療
回復期	新館3B病棟	一般	地域一般 2 (13:1)	45	45	神経難病医療
	新館4B病棟	地域包括	地域包括 3 (特定)	45	45	地域包括 (在宅移行支援)
慢性期	緩和ケア病棟	緩和	緩和ケア 2 (特定)	20	20	緩和ケア
その他 (休棟等)	1号館2階病棟	精神	精神科急性期 1 (特定)	48	48	
	2号館1A病棟	精神	精神科病棟入院基本 (15:1)	46	46	
	2号館1B病棟	精神	精神科病棟入院基本 (15:1)	45	45	
	2号館2A病棟	精神	精神科病棟入院基本 (15:1)	43	43	
	2号館2B病棟	精神	精神科病棟入院基本 (15:1)	44	44	
計				426	426	